

高木研究室 現地調査マニュアル

1 事前調査

1.1 衛星画像による調査項目の立案

- 対象となる衛星画像を幾何補正
- 対象地域周辺のフォールスカラー画像を生成
- 調査すべき土地被覆の場所を決定

1.2 ルートマップの作成

- 国土地理院 1:25000 地図と衛星画像を重ね合わせ
- 調査地点の決定（調査地点は路上を基本とする）
- 調査地点の緯度経度を確認
- 調査地点名は、緯度経度とする
- 調査地点の緯度経度をハンディ GPS に Way Point として入力
- 対象地域周辺のフォールスカラー画像上に調査地点をプロットし、印刷
- 調査範囲の 1:25000 地図、あるいはガイドマップを印刷
- 印刷されたものに調査地点名や緯度経度を適宜書き込み
- 行動計画書の作成

2 携行品

2.1 グループで1セット準備するもの

- ハンディ GPS
- GPS ロガー
- クリノメータあるいは、方位磁針と水準器（カメラ設置用）
- ルートマップ（参加人数分用意）
- デジタルカメラ（焦点距離 28mm 程度に相当する広角レンズを用いる）
- カメラ用三脚（丈夫なもの。安物はハードに使うとすぐ壊れる）
- メジャーとポール（ポール二本で担架を作れる）
- トランシーバ
- ロープ（緊急用）

- 救急道具（絆創膏，消毒薬，包帯，ガーゼ等）
- 予備バッテリー（電池）
- ノート PC（車内で利用）

2.2 個人で必ず準備するもの

- 野帳・筆記具
- ルートマップ（地図）
- 携帯電話
- 水（1日当たり最低1リットル，夏場は2リットル）
- 弁当・おやつ
- 長袖シャツ・長ズボン
- 帽子・運動靴
- 軍手・タオル
- カップを含む雨具
- ビニールシート
- 防寒具（夏場はウィンドブレーカー）
- ある人はデジカメ

3 調査手順

- 携行品の確認
- カメラを含むすべての機器の時刻を GPS と同期させる
- GPS ロガーによるログの開始
- ハンディ GPS により調査地点へ向かう
- 現地写真の撮影（北・東・南・西・天頂の順に撮影）
- 撮影は，三脚を 1.5m 程度の高さに設置して行う
- 撮影方位は，クリノメータを用いてカメラの向きを決定し，水平に撮影
- 天頂の撮影は，画像の上が北となるように撮影
- その後，樹種の分類が可能な程度の拡大撮影も樹木ごとに併せて行う
- 野帳に調査地点，撮影状況，調査地点周辺の樹種を記録

4 内業

- GPS ロガーの情報をノート PC に吸い上げ
- カメラによる画像をノート PC に吸い上げ
- GPS 情報と画像情報を同期させ、位置情報を画像の EXIF に埋め込む
- 調査地点名のフォルダを作成し、そのフォルダごとに画像をまとめる
- 野帳に記録されている情報をテキストファイルとしてフォルダごとに保存する
- 現地調査データベース Web サイトを更新する